

広報

SHOBARA the public information magazine

# しょうばら



2025/January  
No.238

美しく輝く 里山共生都市

## 謹賀新年



### JR芸備線・木次線のさらなる利用促進を目指して!

11月30日、芸備線庄原市応援大使の徳永ゆうきさんをお招きし「秋の庄原鉄道イベント」を開催しました。(関連記事：16～17ページ)



木山耕三市長が開会のあいさつ



列車内で徳永ゆうきさんと会話を楽しむ参加者



地元高校生が芸備線利用促進の  
取り組みやアイデアを発表



徳永ゆうきさんによるコンサート



# 年頭のあいさつ

庄原市長 木山耕三

明けまして、おめでとうございます。市民の皆様には、希望に満ちた新春を穏やかに迎えることと、心からお慶びを申し上げます。

旧年中は、市政の推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

昨年は、元日に発生した能登半島地震に始まり、8月には南海トラフ地震臨時情報の発表もあり、改めて自然災害の恐ろしさと日常の備えの大切さを痛感した一年となりました。

さて、本市は、10年前に民間組織である「人口戦略会議」が公表した報告書において、「2040年までに消滅する可能性がある」とされておりましたが、昨年4月の同様の報告書において「消滅可能性自治体」から脱却をいたしました。これまで、人口減少を最重要課題と捉え「産科医療の再開」や「子ども未来広場の整備」など、子どもを産み育てる環境整備など、若者

の定住に不可欠な施策を積み重ねてきたことが、成果として現れたものと考えております。しかしながら、人口減少や少子高齢化の進行は依然として厳しい状況にあります。引き続き、これらの困難を乗り越えて、希望あふれる年となるよう取り組みを続けてまいります。

## 令和6年の取り組み

1月に、国土交通省中国運輸局が「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき、全国で初めて「再構築協議会」を設置し、3月には、「芸備線再構築協議会」の第1回合合が行われました。芸備線は本市にとって貴重な交通手段であり、これまでも日常利用だけでなく、観光利用においても重要な地域資源であると考え、利用促進に取り組んでまいりました。ネットワークはつながってこそ意味があります。今後も、鉄道のネットワークを生かし、利用促進に取り組んでまいります。

4月には、完成を待ち望んでいた「株式会社フォレストワン庄原工場」が竣工いたしました。新工場の竣工により、庄原産材が市内に留まり、質の高い商品が数多く生産されることで、庄原産材の需要が高まり、ブランド化が図られるとともに、本市の掲げる「儲かる循環型林業」の展望が開けてきたと感じております。

9月と10月には、庄原いちばんづくり留学事業として、庄原市の仕事や普段の暮らしを体験できる2泊3日のプログラム「お試し留学」を実施しました。これは、全国各地の若者が本市に滞在しながら、庄原の強みであり、基幹産業でもある農林業や、暮らしを体験することを通じて、本市に定着してもらうことを目的とし

しさを市内外に向けて発信する絶好の機会ととらえ、市の魅力発信の推進につなげていきます。さらに、本市の最重要課題の一つである人口減少対策につきましても、これまで、長期的な視点に基づき、総合的かつ粘り強く取り組む必要があることから、「第2期庄原市長期総合計画」による施策・事業を着実に推進してまいりました。

この計画は、令和7年度に最終年度を迎えます。現在、「第3期庄原市長期総合計画」の策定に向け、アンケート調査を実施しております。長期総合計画は、本市のまちづくりの指針となる計画で、市が策定するさまざまな計画の中で、最も上位の計画であり、行政と市民の皆さんが一緒にまちづくりを進めていくための大切な計画です。皆さんの意見が反映された計画を策定し、これからの庄原市を皆さんとともに市政を推進していきたいと考えております。

## 結びに

市政運営には終わりがなく、時代の変化とともに、常に新たな課題も生じてまいります。これまで、庄原いちばんづくりに全力を注ぎ、一定の成果と将来への道筋を示してまいりましたが、人口減少や少子高齢化など、直面する課題は大きいものであります。これからも、歩みを止めずに、総力を挙げ取り組んでまいります。

新しい年が皆様にとって幸多き1年となりますよう、心より祈念いたしました。年頭のごあいさつといたします。

た、就労体験型プログラムです。今後は、本市での活動期間を延ばしたプログラムも実施する予定です。こうした「留学生」などの若者世代が、積極的に本市のまちづくりに参画することで、新たな発想が生まれ、地域の活力の創出につながるものと考えております。11月には比婆いざなみ街道マラニック大会を4年ぶりに実施し、県内外から多くの参加をいただきました。今回は「芸備線を応援しマラニック」とし、コース沿線走るJR芸備線の駅をエイドステーションとして利用するとともに、地域の皆さんが地域の特産品をふるまい、併せてJR芸備線をPRするなど、参加者との交流を深めました。さらに、初の試みとして、芸備線に乗りしワープができるなど、趣向を凝らした大会となりました。

## これからの庄原市

本年1月には、ラッピング列車のお披露目を行いました。この列車を通じて、本市の魅力を多くの方に知っていただくことができるなど、誘客促進の一端を担うものとなります。今後も、ほかの交通モードに代えがたい、JR芸備線の日常利用の利便性向上に加え、交流人口の増加や地域産業の活性化など、人口減少対策上の新たな価値や役割を、最大限追求してまいります。また、本年「庄原市」は、市制施行20周年を迎えます。記念すべき節目の年を、市民の皆さんとともに祝い、今後の本市のさらなる飛躍に向け、各種記念事業などを行う予定としております。

行政と市民が一体となり、未来に向け歩みを進める機会となるような取り組みを行います。本市の素晴ら



さらなる利用促進を目指して「秋の庄原鉄道イベント」を開催



5年ぶりに「比婆いざなみ街道マラニック大会」を開催



本市を知ってもらい・来てもらい・選んでもらうことを目的に「お試し留学」を実施



市が誘致を進めた「株式会社フォレストワン庄原工場」が稼働



「芸備線再構築協議会」が設置され、鉄道の維持などに向け協議を開始

# 2024年の主な出来事

広報しょうばらのバックナンバーは、市ホームページからご覧いただけます。



<http://www.city.shobara.hiroshima.jp/main/government/koho/pr/>



シリーズ

# 躍動する子どもたち！

このコーナーでは、隔月で市立学校の取り組みや児童生徒の活動の様子を紹介します。

教育指導課指導係 ☎ 0824-73-1184



峰田小学校の発表会では人文字にチャレンジ



検定を受ける高小の児童



塩原の大山供養田植を披露

## 小奴可小学校



小奴可小5・6年生は、総合的な学習の時間に「小奴可の宝物・宝人・宝事つなぎ隊」というテーマで探究学習を行っています。

本年は東城町小奴可地域に古くから伝わる「国指定重要無形民俗文化財 塩原の大山供養田植」について学習し、調べたことを、帝釈峡時悠館の市民講座で発表しました。市民講座では、大山供養田植のいわれやあらましを劇にして披露しました。発表した6年生の佐古千紘さんと5年生の牧田詠伍くんは「塩原の大山供養田植を守っていくために少しでもお手伝いできることがあったら力になりたい」と話しました。

今回の学習は、児童一人一人が供養田植に込められた地域の人の願いを知り、ふるさとの伝統を受け継ぐ大切さを考える機会になりました。

## 「文化・芸術活動編」

### 峰田小学校



来年度の小学校統合により、本年度で最後となる峰田小学校の学習発表会は「はばたけ！28人の伝えたい思い～感動と笑顔を届けよう～」をテーマに、練習から本番まで、児童一人一人が真剣に取り組んできました。

発表会では、学習したことを基にした劇が披露され、子どもたちが一生懸命発表する姿に、保護者・地域の人からたくさんの温かい拍手やメッセージが送られました。子どもたちは「テーマを考えるのが大変だったけれど、やりがいがあった」「会場の皆さんに楽しんでもらえるよう、工夫して演技ができた」など、それぞれ達成感を感じていました。最後にはグラウンドで、児童や保護者など参加者全員で「ミネタ」の人文字を作り、思い出に残る発表会になりました。

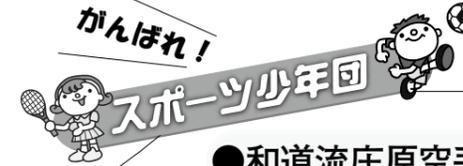
発表会では、学習したことを基にした劇が披露され、子どもたちが一生懸命発表する姿に、保護者・地域の人からたくさんの温かい拍手やメッセージが送られました。子どもたちは「テーマを考えるのが大変だったけれど、やりがいがあった」「会場の皆さんに楽しんでもらえるよう、工夫して演技ができた」など、それぞれ達成感を感じていました。最後にはグラウンドで、児童や保護者など参加者全員で「ミネタ」の人文字を作り、思い出に残る発表会になりました。

### 高小学校



高小学校は、日本の美しい文章や名文を繰り返し復唱し、文章のリズムや調子を体に取り込むこと、先人の知恵や言葉に触れ古典の良さを知ることなどを目的に、伝統となっている「名文暗唱」に取り組んでいます。

名文は6級から1級まであり「春の七草・秋の七草」「いろはうた」から始まり、百人一首や俳句、古文、文学作品の一部などを暗唱し、最後には「日本国憲法前文」にも挑戦します。各先生の検定を受け「合格」すると、次の名文に進むという流れで、学校内では朝会や帯タイム（授業間に行う短時間学習）に、口々に練習しながら、検定を受けるために先生の前には並ぶ姿が見られます。中には、積極的に挑戦し、本年の4月から現在までの間に全級合格を7回達成した児童もいます。一人一人が目標を立て、その達成に向け、日々努力を続けています。



## 和道流庄原空手道スポーツ少年団

私たち和道流庄原空手道スポーツ少年団は、毎週2回（火・木曜日）の通常練習と自主練習1回（金曜日）で活動しています。

幼年クラスは、ラダートレーニングなどで体を動かす楽しさやあいさつ、人の目を見て話を聞くなど、マナーや礼儀を含め教えており、子どもたちも仲間と元気いっぱい活動しています！

小中学生は、全国大会入賞や黒帯を目指して頑張っています。このチームからは、全国大会入賞者や日本代表選手も輩出しています。

市総合体育館で18時30分から練習していますので、お気軽に見学に来てください。

### 【礼節を重んじる空手道】

体だけではなく、心も鍛えて一緒に成長していきましょう。



## まちづくりを進める市民活動登録団体をご紹介します！

市は市内で活動している市民活動団体の登録制度をつくり広く公開しています。市民活動の充実、まちづくりの連携や協働を進めるため情報をお届けします。

特定非営利活動法人  
庄原市芸術文化センター

### 活動 庄原の芸術・文化の振興を図る

私たちは、庄原の芸術・文化などの振興を図ることを目的にさまざまな活動を行っています。活動の一つとして、庄原市民会館の管理運営も行っており、年間を通してコンサートや落語公演、映画上映会などのイベントを企画し、実施しています。

令和6年度は、公益財団法人日本テレビ小鳩文化事業団による「庄原中学校スクールコンサート」を実施し、プロと吹奏楽部員が共演する機会を提供しました。また、吹奏楽部などがある市内高校の生徒などを公演に招待したり、市内小学校5・6年生の児童へ本物の舞台芸術に接する機会を提供する「本物の舞台芸術体験事業」も実施したりしています。さらに市内の保育所や小学校に出向き、プロの演奏を体感してもらう「アウトリーチ事業」を実施し、次世代育成に取り組んでいます。これらの取り組みをステップに、児童・生徒の皆さんが将来、市の芸術文化の担い手となり、まちづくりに関わってもらえることを願って活動しています。

問い合わせ 庄原市芸術文化センター(庄原市民会館内) ☎0824-72-4242

### 市民活動団体登録をしませんか？

市は随時、登録を希望する市民活動団体を募集しています。詳しくは、自治定住課自治定住係 ☎ 0824-73-1209) まで。

- 2 年頭あいさつ
- 4 市民のページ
- 5 躍動する子どもたち
- 6 民泊の魅力は人とのつながり
- 8 市職員の給与などを公表
- 10 学校施設の充実を目指して
- 12 税のかわら版
- 14 医療費通知を医療費控除に活用  
／ほのぼのネット通信
- 15 安心・安全な毎日のために  
／庄原市長選挙・庄原市議会議員一般選挙の執行
- 16 秋の庄原鉄道イベント
- 18 健康広場
- 19 市政トピックス
- 22 カメラレポート
- 24 お知らせ
- 32 出張！カメラレポート  
／出張！市政トピックス

## なごみま★ ジョット



林田 采玖くん(戸郷町)  
R6年3月10日生まれ  
父母より：にこにこ笑顔 毎日可愛いさっくん。これからたくさんお出かけしようね！

お子さんの写真を載せてみませんか？

3歳までのお子さんの写真を募集しています。写真(データも可)に、名前(ふりがな)・住所・生年月日・性別・連絡先・お子さんへのメッセージを添えて、行政課または各支所総務室まで申し込んでください。郵送、メール(koho@city.shobara.lg.jp)でも受け付けます。メールアドレス



# 民泊の魅力は人とのつながり

商工観光課観光振興係 ☎0824-73-1179



市は、修学旅行などの団体を受け入れ、本市の暮らしを体験してもらう民泊事業に取り組んでいます。本市の強みである人と自然、農林業、生活文化などの地域資源を活用し、都市と農村との交流を深めることで、市民がいきいきと暮らすとともに、庄原ファンを増やし、地域活性化に資することを目的としています。

## 本市が進める民泊

市は、平成26年度に「庄原市さとやま体験交流協議会」を立ち上げ、それ以前から取り組んでいた地域と協力し、活動を進めてきました。また、県内・隣県の自治体や観光団体とともに「広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会」に加盟し、支援を受けたたり、加盟団体同士の協働による受け入れやPR活動を行ったりしています。

## 民泊需要の高まり

民泊事業は、新型コロナウイルスの影響で大きなダメージを受けました。全国の学校で修学旅行が中止となり、その期間受け入れをしていなかったことから民泊活動が弱まり、本市を含む多くの地域で受け入れ家庭が減少してしまいました。その一方で、現在、学校現場では「SDGs」のような社会の持続可能性について考える取り組みが広がりを見せています。

その中で、農林漁業などの現場を体験できることや、自然を身近にした環境で暮らす人たちの営みに触れることなど、学校や都市部の生活では学ぶことができない貴重な学習・体験の機会として、民泊への関心が高まっており、この流れは当面続くと考えられています。

## 受け入れまでの流れ

民泊の受け入れは、中学・高校の利用がほとんどで、多くの場合、1泊2日または2泊3日で行います。広島市での平和学習や宮島への訪問などと併せた行程の一部となっています。

### 受け入れ当日のスケジュール

①入村式  
生徒たちが到着した後、生徒と受け入れ地域それぞれの代表があいさつを行い、班ごとに分かれ、各受け入れ家庭が自宅に連れて帰ります。

### ②家業体験・宿泊

各家庭で、その家ごとの体験を行います。農作業の手伝いや薪割り、牧場見学や博物館見学など、庄原らしい体験をします。



### ③離村式

最後は、再度生徒と受け入れ地域それぞれの代表があいさつを行い、旅立つ生徒たちを見送ります。中には涙を流す生徒もおり、民泊を通じて、人とのつながりや温かさに触れることができます。



## 生徒・受け入れ家庭の声

民泊は、子どもにとって一生の思い出に残る体験です。人との出会いを通して、庄原を好きになってもらい、応援してもらえらることにつながります。民泊を体験した皆さんからは、たくさん声をいただいています。

### 生徒たちの感想

- ・地域の自然がそこに住む人の文化や生活に深く関わっていると知って、すごいと思った。
- ・修学旅行のメインは宮島探索や平和学習だと思っていたけど、民泊が一番目玉というくらい楽しくて貴重な経験でした。
- ・道の駅で売っているものがどのようになっているのかわかるのか、知っている人がどのようなのかわかる、知ることができました。
- ・普段調理することのないフキノトウや春菊を調理し、新鮮で学びがあった。友達と協力して作れて楽しかった。
- ・最後には祖母の家のような安心感を感じられ、自分の祖母に久しぶりに「会いたい!」と思った。
- ・買い出しに行った際、受け入れ家庭の方が、すれ違うほとんどの人とお話をしていて、近所つながりがすごく強くと感じた。
- ・年をとったら田舎で暮らしてみたいと思いました。

### 受け入れ家庭の声 (柳原初美さん)

受け入れを始めたきっかけは、仕事で地域活性化に携わっている娘の発案でした。やってみると、張り合いが出て元気がもらえるし、喜んで帰っていく子どもたちの顔を見ると「受け入れて良かったな」と思います。受け入れでは、食事や天気による対応などで気も使いますが、あまり気張らず、普段の暮らしを体験してもらうことを意識しています。また、体験料をいただくので、責任感を持つことは大切にしていきます。遠くから来て「庄原がいいところ」と思ってもらえたら嬉しいので、体力が続く限りは頑張ろうと思っています。



子どもたちと一緒に料理をする柳原さん(左から2番目)

## 民泊にまつわるエピソード

本年9月23日の中国新聞の読者投稿欄に、本市の民泊に関する記事が掲載されました。投稿の主は、比和町の白幡節子さん。かつて民泊で受け入れた子が本市で就職し、再会して感激した、「元気をもらったというものでした。民泊は子どもたちにとって忘れられない思い出になり、長く続く縁をつくってくれることもあります。



白幡 節子さん

## 受け入れ家庭を募集しています!

庄原市さとやま体験交流協議会では、引き続き民泊により地域を元気にしていくため、民泊の受け入れをしていただける家庭を募集しています。民泊に少しでも興味・関心のある人であれば大歓迎です。昔ながらの料理や農業体験などができなくても大丈夫です。本市の暮らしをありのまま体験してもらうだけでも、生徒にとっては、都会の日常とは違う生活を体験できる貴重な機会になります。

県内外の各市町を含め、若い受け入れ家庭も増えています。

受け入れにあたっては、体験料の支払いや緊急連絡体制、備品の貸し出しなど、バックアップ体制も整えていますので、安心して取り組んでいただけます。

「大変な時もあるけど、それ以上にやって良かったと思えるのが民泊」と多くの受け入れ家庭から、やりの声をおいただいています。

ぜひ、私たちの輪に加わってください。

### 問い合わせ

庄原観光推進機構(庄原DMO)  
☎0824・75・0173

民泊の詳細な内容は、こちらのホームページをご覧ください



# 市職員の給与 などを公表

総務課職員係 0824-731122

「地方公務員法」および「庄原市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づき、庄原市人事行政の運営などの状況を公表します。

市の職員の給与は、基本給としての給料と扶養手当、通勤手当などの諸手当からなっており、国や他の自治体の職員の給与などを考慮した上、「庄原市職員の給与に関する条例」などで定めています。

詳しくは市ホームページにも掲載していますので、ご確認ください。



## 1 職員の給与の状況

### (1) 令和5年度の人件費（普通会計決算）

住民基本台帳人口 (令和6年1月1日)	歳出額A	実質収支	人件費B	人件費率 (B/A)
3万2,005人	327億668万円	4億8,233万円	40億3,862万円	12.3%

(注)金額は万円未満を四捨五入。

### (2) 令和5年度の職員給与費（普通会計決算）

職員数A	給与費				1人当たり給与費 (B/A)
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計B	
450人	15億9,649万円	2億8,778万円	6億4,343万円	25億2,771万円	562万円

(注)職員数は令和5年4月1日現在の数。職員手当には退職手当を含まない。金額は万円未満を四捨五入。

### (3) ラスパイレス指数（一般行政職）

区分	令和4年度 (4月1日時点)	令和5年度 (4月1日時点)
庄原市	96.8	96.5
全国市平均	98.7	98.6

(注)  
1. ラスパイレス指数は、国家公務員の給与水準を100として、庄原市職員の給与水準を比較した数字。  
2. 全国市平均は政令指定都市を除いた数値。  
3. 令和6年度の指数は現時点で未公表。国の公表後、市ホームページへ掲載。

### (4) 職員の平均年齢、平均給料月額および平均給与月額（一般行政職）

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
庄原市	43.0歳	31万8,678円	34万693円
広島県	43.2歳	33万92円	36万8,685円
国	42.1歳	32万3,823円	40万5,378円

(注)  
1. 「平均給料月額」とは、令和6年4月1日現在の職員の基本給。  
2. 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養、住居、管理職手当などの諸手当の額を合計したもの。

### (5) 職員の初任給（令和6年4月1日現在）

区分	一般行政職	
	大学卒	高校卒
庄原市	19万6,200円	17万900円
広島県	20万5,537円	17万3,729円
国	19万6,200円	16万6,600円

### (6) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額（令和6年4月1日現在）

区分	一般行政職	
	大学卒	高校卒
経験年数10-15年	27万2,900円	26万2,633円
経験年数15-20年	30万2,315円	28万4,650円
経験年数20-25年	36万589円	32万1,950円

## 2 特別職の報酬など（令和6年4月1日現在）

区分	報酬月額など	期末手当
市長 副市長 教育長	86万円 70万円 62万円	(令和5年度支給割合) 4.5月分
議長 副議長 議員	41万円 35万5,000円 32万5,000円	(加算の状況) 役職加算15%

## (7) 一般行政職の級別職員数 (令和6年4月1日現在)

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比
1級	主事	21人	5.8%
2級	主事	39人	10.8%
3級	主任主事	104人	28.8%
4級	主任	64人	17.7%
5級	係長級	93人	25.7%
6級	課長級	34人	9.4%
7級	部長級	6人	1.7%
計		361人	100.0%

(注)  
1. 給与条例に基づく給料表の級区分による職員数。  
2. 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務。

## 3 職員の任免および職員数

### (1) 職員の採用状況 (令和5年4月1日～令和6年3月31日)

試験区分	採用者数
行政職	
一般事務	12人
技師(土木)	1人
保健師	1人
保育士	3人
教育委員会管理主事	1人
医療職	
医師	1人
介護支援専門員	2人
看護師	3人
計	24人

### (2) 職員の退職の状況 (令和5年4月1日～令和6年3月31日)

	市長事務 部局など	西城市民 病院	計
普通退職	33人	5人	38人
懲戒免職	1人	0人	1人
失職	1人	0人	1人
合計	35人	5人	40人

### (3) 部門別職員数（令和6年4月1日現在）

部門	区分	職員数		対前年 増減数	
		令和5年度	令和6年度		
普通会計部門	一般行政部門	議会	6人	6人	0人
		総務・企画	147人	140人	△7人
		税務	21人	21人	0人
		労働	0人	0人	0人
		農林水産	45人	42人	△3人
		商工	17人	17人	0人
		土木	51人	48人	△3人
		民生	100人	96人	△4人
		衛生	31人	31人	0人
		計	418人	401人	△17人
		教育	32人	30人	△2人
	警察	0人	0人	0人	
	消防	0人	0人	0人	
	小計	450人	431人	△19人	
会計営部門等	病院	77人	79人	2人	
	水道	0人	0人	0人	
	下水道	9人	9人	0人	
	その他	31人	31人	0人	
	小計	117人	119人	2人	
合計		567人 [847人]	550人 [847人]	△17人 [0人]	

(注) 1.職員数は一般職に属する職員数。 2.[ ]内は条例定数。



# 学校施設の充実を目指して

～長寿命化改修工事やトイレ洋式化工事を実施～

教育総務課学校管理係 ☎ 0824-73-1186

## 東小学校校舎長寿命化改修工事に着手

### ●目的

長寿命化改修工事は、経年により老朽化した建物を、将来に渡って使用できるような建物の耐久性や機能、性能を高める工事のことをいいます。

東小学校の校舎は、昭和55年3月に建築され、築44年を経過しており、屋上や外壁、内装など全体的に老朽化が進んでいます。

そこで、校舎の老朽化を改善するとともに、時代に即した機能を持たせるよう、長寿命化改修工事を行い、子どもたちが安全かつ快適に学び生活できるような取り組みを行います。

### ●主な改修内容

改修内容は、庄原市学校施設長寿命化計画を基本とし、東小学校の校舎では次の3つの軸で改修を行います。

#### ①建物全体の耐久性の向上

建物全体の耐久性を向上させるため、屋上への防水シートの敷設や、外壁の劣化を防ぐ外壁材の塗布、床・壁・天

#### 小中学校のトイレ洋式化工事を実施中

### ●目的

学校のトイレは、これまで和式便器が中心でしたが、近年家庭での洋式便器の普及が進んでいるほか、災害時に学校が避難所になった際、誰もが使えるよう備えるため、洋式便器の需要が高まっています。

そのため、本市の学校においても洋式便器の整備と、トイレの床を乾式化し、衛生的な環境づくりを進めています。学校を使う子どもたちが、快適にトイレを使えるよう年次的に工事を行っています。

### ●主な改修内容

- ▼トイレ洋式化工事では、次の改修を行います。
- ▼和式便器の洋式化<sup>(※)</sup>
- ▼暖房便座の設置
- ▼床の乾式化
- ▼手洗いの自動水栓化
- ▼照明のLED化 など

※学校施設はさまざまな人が使用するため、和式便器を必要とする人がいることを考え、学校内に男女1カ所程度は和式便器を残します。

井材の張り替えなどを行います。その他にも、電気・機械設備などの更新を行います。

#### ②快適に過ごせる環境

学校は子どもたちが学習活動に集中するために、快適に過ごすことができる施設であることが大切です。

東小学校のトイレは和式便器が多く、時代のニーズに適合していない箇所があるため、トイレの洋式化や床の乾式化を行います。また、老朽化した空調機器も更新します。

#### ③環境に配慮した施設

二酸化炭素排出削減など環境に配慮した学校施設とするため、断熱性の高い材を外壁に使用するとともに、窓などに複層ガラス(二重構造になったガラス)を採用します。また、照明機器をLED化し、エネルギー消費の抑制を図ります。

#### ●工事の進め方

3工期に分け、現在の校舎と仮設校舎を使いながら改修を行います。工事が完了した箇所から順次使用開始します。

#### 工事概要

令和4年度から段階的に着手しており、一部の学校を除き、令和9年度までに完了する予定です。

#### 完了している学校

- 令和4年度  
板橋小学校、西城小学校(校舎・比和小学校)
- 令和5年度  
永末小学校、西城小学校(体育館)、高野小学校、西城中学校、総領中学校



改修後

和式便器の洋式化



改修後

手洗いの自動水栓化



改修後

床の乾式化



校舎北部の工事



仮設校舎の建設

ととしています。

#### 第1工期

令和6年10月～令和7年3月

#### 校舎北部

#### 第2工期

令和7年4月～8月

#### 校舎中央部

#### 第3工期

令和7年9月～令和8年3月

#### 校舎南部

#### 工事期間

令和6年10月～令和8年3月

#### (完了予定)

#### 総事業費

約9億8307万円

#### 最後に

市教育委員会は、今後も庄原市長期総合計画や庄原市学校施設長寿命化計画に基づいて、本市の子どもたちが、生き生きと学ぶことができるよう学校施設の充実を目指していきます。

申告会場にお越しいただく際には、次のものをご持参ください。

対象者	持参するもの
●全員	本人確認書類（マイナンバーカードまたは通知カード+運転免許証、保険証など）
●事業所得（農業・営業等）や不動産所得のある人	「収支内訳書」または「月別集計表」などの、収入や必要経費を整理したもの
●給与所得がある人	給与所得の源泉徴収票
●公的年金を受給している人	公的年金などの源泉徴収票
●一時所得（生命保険一時金、損害保険返戻金など）や雑所得（個人年金など）がある人	収入や必要経費が確認できるもの
●生命保険料控除や地震保険料控除、寄附金控除などを受ける人	支払証明書
●国民年金の控除を受ける人	保険料控除証明書
●医療費控除を受ける人	医療費控除の明細書またはセルフメディケーション税制の明細書
●障害者控除を受ける人	身体障害者手帳など障害の程度を証明するもの
●肉用牛の免税を受ける人	肉用牛売却証明書
●住宅借入金等特別控除（2年目以降）を受ける人	住宅取得資金に係る借入金の年末残高証明書
●所得税の納税・還付に金融機関の預金口座の利用を希望する人	口座番号・通帳登録印

※源泉徴収票や各種証明書は必ず原本をご持参ください。  
 ※事業所得（農業・営業）、不動産所得の収支内訳書・月別集計表や医療費控除明細書は、事前に作成の上、会場にお越しください。未作成の場合、ご自身で計算を行っていただいた後、申告相談を受けるため、時間を要することとなります。様式は、税務課・各支所地域振興室に用意しています。また、国税庁ホームページからもダウンロードできます。

【問い合わせ先】

税務課市民税係	0824-731146
西城支所地域振興室	0824-2124
東城支所地域振興室	0847-215121
口和支所地域振興室	0824-2112
高野支所地域振興室	0824-2115
比和支所地域振興室	0824-3001
総領支所地域振興室	0824-721001
庄原税務署	0824-721001



● 申告相談会場の混雑を避けるため、住民税申告を行う人は、郵送での提出を推奨しています。その際、申告書の控えを返送するため、切手を貼り宛名を記載した返信用封筒を同封してください。（同封がない場合、申告書の控えは送付できません）

● 会場入口にアルコール消毒液を設置するとともに、会場内の定期的な換気を行います。

● 各地域における申告相談会場  
 行政文書（各戸配布）と市ホームページで申告相談の受付日程をお知らせします。

各地域の割当日、受付時間をご確認の上、必ず時間内にお越しください。受付開始直後は、大変混み合いますので、時間をずらしての来場をお勧めします。

「協力ください」

申告に必要なもの



申告準備はお早めに！

# 市・県民税の申告相談

税務課 市民税係 ☎ 0824-73-1146

市・県民税の申告時期が近づいてきました。今回から、申告相談の日程表は各戸配布に変更しています。申告が必要な人は、各戸配布の文書で日程を確認し、期間内に申告してください。

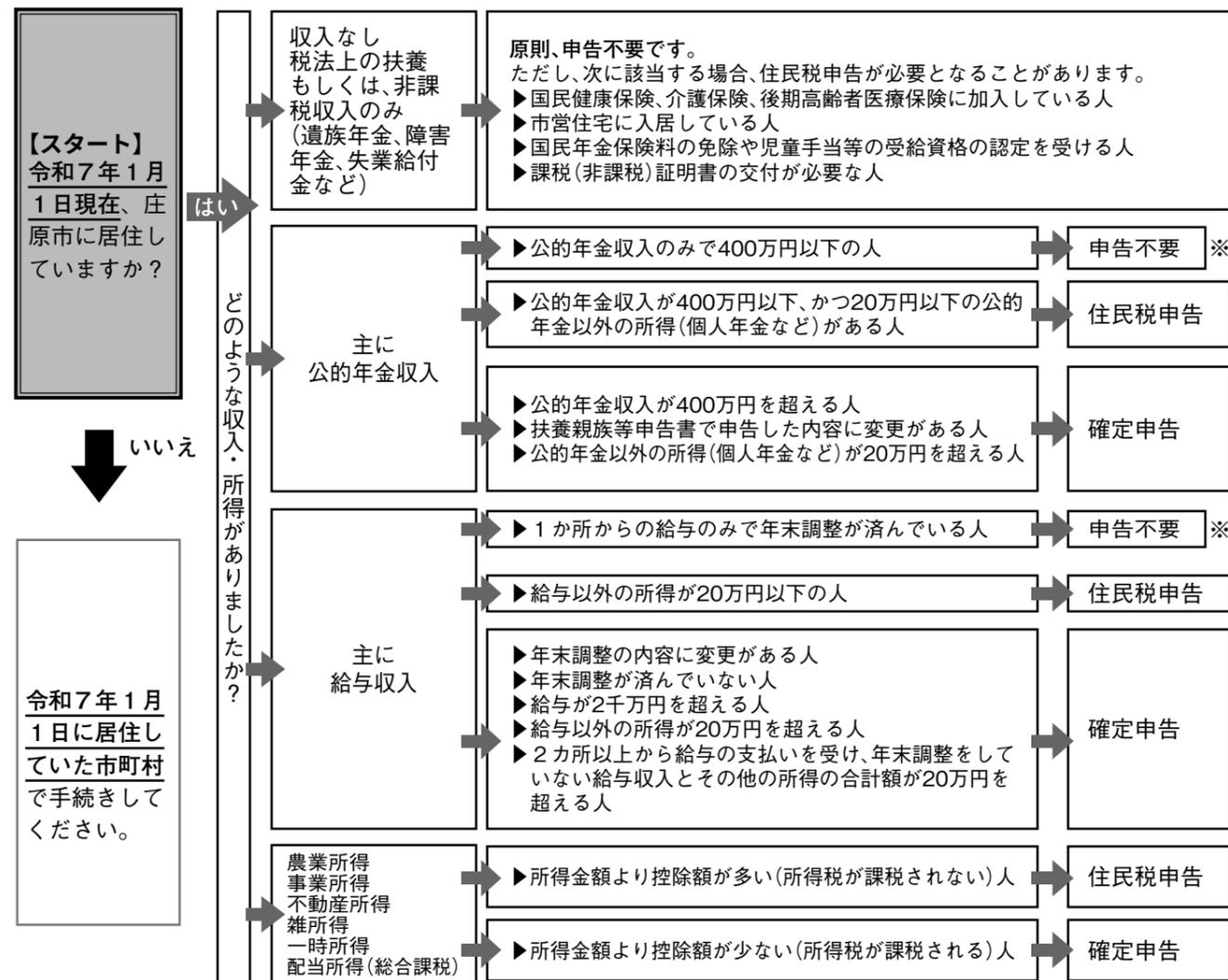
申告相談  
受付期間

2月17日(月)

3月17日(月)

確認してみよう！  
申告フローチャート

まずは、下記のフローチャートで申告手続きが必要かどうかを確認してみましょう。  
 ● 次の場合は、庄原税務署での確定申告が必要です。  
 ・ 青色申告の人  
 ・ 土地や建物、株式の譲渡所得および山林所得がある人（※3月以降に税務署での受け付け）  
 ・ 先物取引による所得がある人  
 ・ 太陽光発電による売電収入のある人  
 ・ 雑損控除や住宅借入金等特別控除（1年目）がある人  
 ● 税務署に確定申告書を提出した人は、住民税申告を行う必要はありません。  
 ● 下図に沿わない場合もあります。不明な点はお問い合わせください。



※所得税の還付を受ける人や各種控除の適用を受けようとする人は、フローチャートに関わらず確定申告もしくは住民税申告が必要です。

# 安心安全な毎日のために

## 庄原警察署からのお知らせ

庄原警察署 ☎0824-72-0110

### 戸別訪問に注意！

市内で「近々、工事が予定されている」「トイレを貸して」「両替して」などと、不審者が民家を訪問する事例が多発しています。不審者が戸別訪問し、家族構成や車の出入りする時間を聞き出そうとしたり、家の中に入り込もうとしたりします。

もしかしたら、泥棒や強盗が、あなたの家を見ているかもしれないかもしれません。

### 次の標的は、あなたの家かも！？

- 被害に遭わないために
- 来訪者の対応は、すぐにドアを開けないで！
- まずはインターフォンやドアスコープで相手を確認！
- 知らない相手を家に入れないで！！
- 知らない相手に家族構成や個人情報や伝えない！
- 在宅中も玄関や窓を施錠し、チェーンロックも忘れずに！

スマホであなたに「オトモ」する  
オトモポリス

広島県警察 安全安心アプリ

- ちかん撃退
- 防犯ブザー
- 防犯マップ機能
- 現在地送信機能

iOS端末はこちら  
Android 端末はこちら

### 《オトモポリス》で安心安全

皆さんがお住まいの地域で、どんな事件・事故が起きているか知っていますか？

広島県警察安全安心アプリ「オトモポリス」は、生活圏内で発生している事件や事故、不審者情報などをマップで一覧できる機能があります。

その他にも、防犯ブザーの機能や痴漢、不審者対策の機能などが備わっています。ぜひ、このアプリをインストールして、さまざまな場面で安全安心のオトモとして活用してください。

# 医療費通知を医療費控除に活用する予定の人へ (国民健康保険・後期高齢者医療制度に加入している人)

保健医療課医療予防係 ☎0824-73-1155・保健医療課国保年金係 ☎0824-73-1158

市・県民税（住民税）の申告や確定申告で医療費控除を受ける人は「医療費控除の明細書」を添付する必要がありますが、「医療費通知（医療費のお知らせ）」を添付することで、「医療費控除の明細書」の記入を一部省略することができます。

### 医療費通知の送付時期

- 「医療費通知（医療費のお知らせ）」は、「国民健康保険」および「後期高齢者医療制度」に加入している人へ、次の時期に届きます。
- ▼国民健康保険
  - 1～10月診療分 2月上旬
  - 11・12月診療分 3月上旬
- ▼後期高齢者医療制度
  - 1～10月診療分 1月末頃
  - 11・12月診療分 3月中旬

### 11・12月診療分の控除を受けるには

「11月・12月診療分」の通知は、申告の時期に間に合わない場合があります。また、医療機関からの請求が遅れている場合や、再審査となっている場合などは、診療情報が通知に記載されない場合があります。

### 問い合わせ

- ▼国民健康保険加入者  
保健医療課国保年金係  
☎0824・73・1158
  - ▼後期高齢者医療制度加入者  
《1月まで》  
保健医療課医療予防係  
☎0824・73・1155
- 《2月から》  
広島県後期高齢者医療費のお知らせコールセンター  
☎050・3385・1009



その場合、該当の医療費控除を受けるためには、医療機関の領収書などに基づき作成した「医療費控除の明細書」を添付して申告する必要があります。

※「医療費控除の明細書」の様式は、税務課市民税係・各支所地域振興室にあります。

また、国税庁ホームページからもダウンロードできます。

※医療費の領収書は、確定申告などの期限から5年間保存する必要があります。

# 庄原市長選挙・庄原市議会議員一般選挙の投票日は4月13日(日)

庄原市選挙管理委員会事務局 ☎0824-73-1126

任期満了による庄原市長および庄原市議会議員一般選挙を、4月6日告示（立候補届出受付日）、4月13日投票の予定で執行します。

皆さんの1票は、これからの市政を左右する大切な1票です。棄権することなく明るい選挙で私たちの代表を選びましょう。

### 立候補できる人

- ▼市長  
日本国民で年齢満25歳以上の人
- ▼市議会議員  
日本国民で年齢満25歳以上の庄原市議会議員の選挙権を持っている人
- ※何らかの公職についている人は、立候補に制限がある場合があります。

立候補予定者説明会を2月5日(水)に開催する予定です。

詳しい内容は、市ホームページや1月20日発行の行政文書でお知らせします。

### 講演会の内容

次の日程で、子育て支援講演会を開催します。

とき  
1月25日(土) 14時～15時30分  
ところ

- ・庄原自治振興センター
- ・東城支所3階大会議室（オンライン配信）

### 申し込み方法

- ・電話予約  
児童福祉課あんしん支援係  
☎0824・73・0051
- ・インターネット予約  
電子母子手帳アプリ「庄原市ほのぼのネットアプリ」



### 申し込み締め切り

1月23日(木) 17時まで  
託児

0歳児～小学3年生  
※4年生以上の子どもの託児は、別途ご相談ください。

### 問い合わせ

児童福祉課あんしん支援係  
☎0824・73・0051  
社会福祉課障害者福祉係  
☎0824・73・1210



講師の津守さん

### 投票できる人

平成19年4月14日までに生まれ、令和7年1月5日までに本市に住民登録をした人で引き続き3カ月以上、本市に住所のある人

※投票日前に本市外へ転出した人は投票できません。

※その他、法律により被選挙権、選挙権が停止されている人は、立候補または投票をすることができません。



### 「みんな徹底しよう」

政治家が選挙区内の人にお金や物を贈ることはもちろん、有権者が政治家に寄附や贈り物を求めることも、公職選挙法により禁止されています。

一人一人が寄附禁止のルールを守って、明るい選挙を実現しましょう。

### 三不運動

- ・政治家の寄附は禁止（贈らない）！
- ・政治家の寄附を求めない！
- ・政治家の寄附を受け取らない！

# ひとつひとつ まちとまちをつなぐ芸備線 ～秋の庄原鉄道イベント～

地域交通課芸備線対策係 ☎0824-73-1171



11月30日、JR芸備線・木次線のさらなる利用促進に向けた機運の醸成を目的に「秋の庄原鉄道イベント」を開催しました。  
イベントは、2部構成で実施し、第1部は、芸備線列車の旅（貸切列車の運行）、第2部では、地元高校生による利用促進に向けた取り組み紹介やアイデア発表、また芸備線庄原市応援大使の徳永ゆうきさんによるコンサートを行いました。

## 芸備線庄原市応援大使 徳永ゆうきさんのプロフィール

大阪府出身。平成24年「NHKのど自慢チャンピオン大会」でグランプリチャンピオンに輝く。  
翌年CDデビューし、平成26年「第56回輝く！日本レコード大賞」で新人賞を受賞。歌手として活躍する傍ら、『撮り鉄』として鉄道写真の撮影を趣味とするなど、鉄道ファンとして知られている。

令和5年10月、芸備線（広島―備後庄原駅間）開業100周年のイベントで、一日駅長を務め、同日、市が芸備線庄原市応援大使に任命した。



開業100周年で芸備線庄原市応援大使に任命

## 第1部 芸備線列車の旅（貸切列車の運行）

第1部は「徳永ゆうきと行く！芸備線列車の旅」と題し、備後庄原駅から東城駅まで貸し切り列車を運行しました。  
列車内では、庄原の観光ガイドの熊本洋道さんが、芸備線から見ることのできる絶景や歴史など、笑いあいの解説が行われました。備後落合駅からは、徳永さんも乗車し、乗客の皆さんと一緒に会話をしたり、ゲームをしました。

また、備後庄原駅から東城駅までの各駅では、保育所の園児や地域の皆さんが手や旗を振るなど、列車のお出迎えが行われました。



徳永さんの乗車で盛り上がる列車内 熊本さんのガイド

## 第2部 地元高校生による取り組み紹介・アイデア発表表と徳永ゆうきさんのコンサート

第2部は、東城文化ホールを会場にタレントで庄原市ジビエ大使でもある松本裕見子さんの司会により、高校生による芸備線利用促進の取り組み紹介やアイデアの発表、最後には徳永さんによるコンサートが行われました。

### 庄原格致高校

庄原格致高校は、生徒2人がJR芸備線の利用促進の取り組みとして、小学校の児童と一緒に、西城町への旅を企画した内容を発表しました。

庄原の何気ない風景が、芸備線から見ると新鮮に見えたこと、地元の皆さんと交流を深めることができたこと、参加した児童や保護者から喜びの声がたくさん聞けたことなどを、自分たちで撮った写真を使って説明しました。



### 西城紫水高校

西城紫水高校は、生徒3人が芸備線の現状の把握やアンケート調査の実施、自分たちで考えた芸備線の利用者を増やす方法を発表しました。

利用者を増やす方法の提案では、通学：通勤者の運賃割引や駅の清掃、サイクルトレイン（列車内に自転車を持ち込める取り組み）の導入など、普段から芸備線を利用する学生目線の意見を発表しました。



### 三次高校

三次高校は、生徒3人が「芸備線プロジェクト」と題して、市役所や芸備線の運転手などにインタビューを行い、それを基に考えた利用促進のアイデアなどを発表しました。

SNSの活用や他の自治体の成功事例の活用、また芸備線の問題が地域に

与える影響などについて説明しました。

## 徳永ゆうきさんによるコンサート

徳永さん自身のオリジナル曲や、カバー曲など、計13曲を熱唱。会場は徳永さんのすばらしい歌声に包まれました。



## 芸備線への思いを伝える

私は、通学で芸備線を利用しているのですが、その時に感じたことを含め発表させていただきました。芸備線は厳しい状況だと思いますが、今回のようなイベントを継続していただき、もっとPRしていけたらと思います。私たち西城紫水高校のみんなも協力しますので、一緒に盛り上げていきたいです。



西城紫水高校1年 中 優羽さん

## 芸備線・木次線の価値・役割を再認識

企画を通じて、芸備線・木次線の価値や魅力を多くの人に認識していただく中で、さらなる利用機運の高まりを感じています。芸備線・木次線は、日常生活の移動の確保や観光などの地域活性化に取り組む上で必要不可欠な社会基盤であり、鉄道ネットワークを守るため、引き続き利用促進を推し進めていきます。



地域交通課長 下森 一克

生涯学習課

### 誰もが一緒に楽しめるスポーツを体験

インクルーシブ・スポーツ・フェスタ広島 in Shobara



モルックを楽しむ参加者

11月16日～17日の2日間、インクルーシブ・スポーツ・フェスタ広島が、福山市をメイン会場として県内5市町で開催されました。

このイベントは、障害の有無を問わず、誰でもさまざまなパラスポーツを体験できる参加型イベントで、本市では11月17日に、庄原市北公園でポッチャとモルックの体験会を開催し、30人が参加しました。

ポッチャは、ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、自分のチームのボールを投げたり転がしたりして、いかに近づけるかを競う競技。モルックは、円柱状の棒（モルック）を数字のついた木製のピン（スキットル）に投げ、倒れたピンの点数を先に50点ピッタリにすることを競う競技で、子どもから高齢者まで、誰でも楽しめるスポーツです。

参加した人は「非常に楽しくて来てよかった。良い体験ができた」「外でモルックは初めて。広い空間でのびのびできて良かった」と話しました。

市民生活課

### 男性学の視点から見る男女共同参画

庄原市男女共同参画セミナー（第2回人権啓発セミナー）



講演を行う伊藤さん

11月7日、庄原自治振興センターで庄原市男女共同参画セミナー（第2回人権啓発セミナー）を開催しました。

講師に、男性学の研究で知られる京都大学・大阪大学名誉教授の伊藤公雄さんをお迎えし「男だつて生きづらい～男性学の視点から、男女共同参画を考える～」と題して講演を行いました。

セミナーでは、世界と日本のジェンダー平等への歩みや、男性らしさ・女性らしさの概念が性差別の基盤であるとともに男性に負荷をかけていること、男性のケア力（自他の生命・身体・気持ちへの配慮）の向上や、お互いにケアへの感謝が大切であることなどの話があり、男女共同参画社会の実現に向けて、考える機会となりました。

来場者は「今まで考えたことがなかった視点での男女共同参画の内容で、興味深く聞いた」「男性がしんどくて攻撃的になる要因がわかった気がする」との感想があり、男女が共に暮らしやすくなる社会について考える機会となりました。

高齢者福祉課

### 自身の体験から学んだ認知症を説く

令和6年度庄原市在宅医療・介護についての市民研修会



講演を行う信友さん

11月30日、庄原市民会館で庄原市在宅医療・介護についての市民研修会を開催し、約530人が参加しました。

第一部は映画「ぼけますから、よろしくお願いします。」（おかけりお母さん）の上映、第二部は、同映画の監督の信友直子さんが、「認知症の母が命懸けで教えてくれたこと」と題して講演を行いました。

講師の信友さんは、映画の内容やエピソードを交えながら「人生の先輩に『介護は、親が命懸けでしてくれる最後の子育て』と教えてもらい、父と母の絆の深さ、老いてゆく豊かさを見せてもらった」「延命治療をするかどうか、母が元気なとき『もしもの時にどうしたい？』と聞いておけばよかった」と自身の体験を話しました。

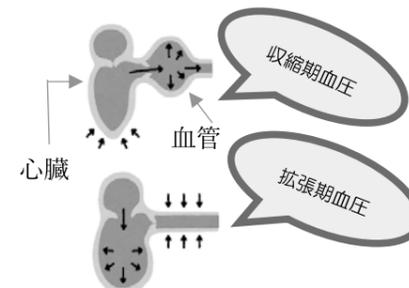
参加者は「支え合うこと、感謝すること、大切に生きていきたい」「本人の気持ち、どうしてほしいかを家族でしっかり聞き取り、家族の思いや願いも伝えたい」と話しました。

# 高血圧とウォーキング

## ○血圧とは

心臓から血液が押し出される時に、血管にかかる圧力のことをいいます。

体の全身に血液を送るため、心臓がぎゅっと収縮した時にかかる圧力のことを**収縮期血圧（最高血圧）**、心臓の筋肉が最も広がったときの圧力のことを**拡張期血圧（最低血圧）**と呼びます。



## ○高血圧とは

血管に必要以上に圧力がかった状態のことをいいます。

原因は、肥満や野菜・果物不足、ストレス、喫煙や過剰な飲酒、運動不足などが考えられます。高血圧と判定するための基準は、右図のとおりです。

血圧（診察室血圧）の判定基準（日本高血圧学会）

	収縮期血圧	かつ	拡張期血圧
正常血圧	120 以下		80 以下
正常高値血圧	120～129	かつ/または	80以下
高値血圧	130～139	かつ/または	80～89

また、冬は寒さにより体が一種の緊張状態に陥りやすいこと、漬物などの保存食をよく食べることで、外出せず運動量が低下することなどが原因で、特に高血圧になりやすい季節です。

高血圧予防の一つに運動することが効果的だと言われています。中でも、ウォーキングは気軽に始めやすい運動の一つですが、冬のウォーキングには以下の注意が必要です。

## ❄️ 冬のウォーキングの注意点 ❄️

### ① 朝起きてすぐ歩くのは控える

朝起きてすぐに運動すると、一気に血圧が上がるので、なるべく陽ざしが出ている日中を選んで歩きましょう。



### ② 服装を工夫する

外に出た時の体温低下を防ぐため、帽子や手袋、マフラーなどを着用しましょう。服装は、脱ぎやすく、体温調整のしやすい薄手のものを重ねて着る方がおすすめです。インナーは汗を吸収しやすい素材を選びましょう。

### ③ 外に出る前に、室内でウォーミングアップ

室内から外に出た際に気温差があると、脳や心臓に大きな負担になります。十分に体のストレッチをしてから歩きましょう。



## 冬場にウォーキングに取り組まれた人の声

- ▶ 「農作業がない冬の時期に意識して運動できて良かった」
- ▶ 「寒いけど、歩くと体がポカポカして気持ちがいい。気分もすっきりした」
- ▶ 「普段車では通ることのない道を歩き、新しい発見があって楽しい」

一人で始めることが難しければ、ウォーキング教室や地域のウォーキングサークルなどに参加して、運動習慣のきっかけを作ってみてはいかがでしょうか。

- また、生活の中でも
- 買い物の際など、車を駐車する時は、店の入り口付近から遠くに車を停める
  - エレベーターを控え、階段を使う
  - ゆっくり歩くのではなく、少し早歩きで歩いてみる
- などちょっとした工夫で、生活の中にウォーキングを取り入れてみてください。

高血圧や運動不足になりやすい冬にこそ、意識して体を動かし、元気に冬を乗り越えましょう。

保健医療課健康推進係 ☎ 0824-73-1255

生涯学習課

冬の風物詩！青空の下の疾走  
第73回庄原市スター式駅伝大会



コースを駆け抜けるランナー

12月1日、第73回庄原市スター式駅伝大会を開催し、本年は市内外から34チーム273人が参加し、健脚を競いました。  
大会は中学、高校、一般など6部門に分かれ、上野公園陸上競技場を基点に6区間、男子16キロメートル、女子15・6キロメートルのコースで行いました。  
開会式では庄原中3年の荒木莉愛さんが力強く選手宣誓を行いました。  
スタートの合図を待つ頃には降っていた雨も上がり、きれいな晴れ間の絶好の駅伝日和でした。ランナーは、この日を待ちわびていたように力強く、また沿道の声援に背中を押されながら、力すぎをつなぎ、コースを疾走していききました。

東城支所

おばけの世界を楽しむ  
絵本原画展



ワークショップを楽しむ宮本さん(左)と参加者

11月16日～30日、東城まちなか交流施設えびすで、絵本原画展「宮本えつよしの世界」を開催しました。  
期間中は、絵本作家の宮本えつよさんの絵本シリーズ「おばけずかん」や「キャバたまたんてい」の原画を多数展示し、市内外からの多くの来場者がカラフルな原画を鑑賞しました。  
また11月19日には、栗田小学校で宮本さん本人によるワークショップがあり、子どもと保護者が参加しました。  
宮本さんによるおばけの話の紙芝居を笑い転げながら鑑賞した後、トイレットペーパーの芯を使った膨らむおばけなどを作りました。  
子どもたちは、思いを込めて作ったおばけを披露し合い、楽しんでいました。

企画課

デジタルに関する身近な相談に乗ります  
デジタル相談会



パソコンソフトの使い方について説明を受ける参加者



LINEの説明をする県立広島大学庄原キャンパスの学生

11月28日、庄原市民会館で市民を対象にスマートフォンやパソコンの便利な活用方法を紹介するデジタル相談会を開催しました。  
今回は、主にスマートフォンで利用できる「LINE」の便利な使い方や、ショートメッセージサービスの操作方法、またパソコンで利用することの多い表計算ソフトや文書作成ソフトの利用のコツなどを、市職員と県立広島大学庄原キャンパスの学生が講師役となり説明しました。  
また、デジタルに関する悩みに回答する「デジタルよろず相談会」も同日に開催し、さまざまな場面でのデジタル活用の相談に対し、解決策について意見交換を行いました。  
参加した人は「LINEについての相談ができてよかった」「スマートフォンで電話帳の使い方を教えてもらえて満足した」と話しました。市は、今後も市民の利便性向上に繋がるデジタル技術の活用を進め、デジタルに関する困りごとの解決を図っていきます。

教育指導課

みんなで奏でるハーモニー  
第7回庄原市中学校合唱コンクール

11月13日、市内全7中学校が一堂に会する合唱コンクールを庄原市民会館で開催し、各学校が課題曲「大切なもの」と自由曲の2曲を披露しました。  
各学校の生徒は、この日のために練習を積み重ね当日に臨みました。心を一つにして歌おうとする姿に、各学校の発表が終わると会場からは大きな拍手が起こりました。  
生徒は「他の学校との交流も少ない中、合唱コンクールを開き、最後に全体で歌えたのが庄原の心を一つにできた瞬間だったと思う。他の学校の歌声も聞けて良かったし、自分たちも楽しむことができた」と話し、自分たちの当日までの取り組みを振り返るとともに、お互いの合唱を称え合いました。  
来場者からは「中学生が仲間と共に心を合わせて歌う姿に引き込まれた。学校の規模は大小いろいろだけれど、どの学校もそれぞれの良さがあって聴きごたえがあった」と話し、生徒の一生懸命な姿に感動する内容の声が多く寄せられました。  
中学生の合唱後には、地元コーラスグループ「東城コーレ」が美しい歌声を響かせ、コンクールに華を添えました。  
閉会式では、生徒と来場者全員で課題曲を合唱し、コンクールの幕を閉じました。  
なお、参加した3年生は、5年後の「二十歳を祝う会」で、再び心を一つにして課題曲を合唱する予定です。



最優秀賞を獲得した庄原中学校



優秀賞を獲得した口和中学校

行政管理課

これまでの功績に感謝を込めて  
庄原市ふるさと大使・庄原市ジビエ大使 西田篤史さん感謝状贈呈式



感謝状を手渡す木山市長

庄原市ふるさと大使・庄原市ジビエ大使の西田篤史さんが、11月3日にご逝去されたことに伴い、これまでの活躍に敬意を表するため、11月25日に西田さんの家族に感謝状を贈呈しました。  
西田さんは、平成26年7月に庄原市ふるさと大使、令和4年7月に庄原市ジビエ大使に就任し、本市の魅力や県内外に広く発信。PR役として大きく貢献していただきました。  
贈呈式では、長年西田さんと共に活動している松本裕見子さん同席のもと、木山耕三市長から西田さんの家族に感謝状や花束などが送られました。  
木山市長は「西田さんのこれまでの多大なるご功績に対し、心から敬意と感謝の意を表します」と述べました。

高齢者福祉課

新たな指導士が誕生  
シルバーリハビリ体操2級指導士養成講習会



講座を受講する参加者

10月3日～11月20日の間、庄原市ふれあいセンターで、第15期シルバーリハビリ体操2級指導士養成講習会を開催し、8日間の全日程を修了した6人が新たな指導士となりました。  
指導士の養成は、指導士養成講習会を開始した平成27年10月から本年で10年目を迎え、これまでに163人の指導士を養成しました。  
新たに指導士となった6人は今後、指導士会の仲間と共に体操指導士として、市内の地域の集まり場などでシルバーリハビリ体操の実践と普及啓発活動を推進していきます。

## いい色に塗装

いい色塗装の日・11/15

No.5

語呂合わせから「いい色塗装の日」とされている11月16日に合わせて、日本塗装工業会広島県支部北部地区の会員4人が、庄原まちなか交流施設紅梅通り三軒茶屋の外装塗装を行いました。

この活動は、同地区に加入している市内の塗装業者が、市の公共施設などの塗装作業をボランティアで行っているもので、本年は、紅梅通り三軒茶屋の外装を従前と同じ黒色のペンキで一日かけて塗り直しが行われました。

地区担当の久保崇俊さんは「三軒茶屋ではさまざまなイベントが行われているので、気持ちよく利用してもらいたい」と話しました。



▲三軒茶屋で作業をするボランティアの皆さん

## 東城駅舎で地域貢献

東城高校生徒によるボランティア清掃・10/24

No.4

芸備線東城駅で東城高校生徒によるボランティア清掃が行われました。

これは、東城高校が平成16年からボランティア活動の一環で取り組んでいるもので、東城駅とその周辺の清掃活動を夏と秋の年2回実施しています。平成23年からは、『東城応援隊』として、更に幅広く、地元東城に貢献するさまざまな活動を行っています。

今回初めて、清掃活動に参加した1年生の生徒は「駅舎の中を隅々までほうきで掃くのは大変だったが、とてもきれいになった。掃除を行っている間、駅の方や利用者の方に感謝の声をかけて頂き、達成感を感じた」と話しました。



▲駅舎を念入りに掃除する生徒たち

## 比婆牛がグランプリを獲得

比婆牛ブランド共創プロジェクト採択者発表会・11/29

No.1

広島県主催の比婆牛ブランド共創プロジェクトで、総領町の飲食店「avenir town MIRAINO-MACHI」の水橋聡シェフが開発した「比婆牛たっぷりビーフカレー&ビーフシチュー」が、見事グランプリを獲得しました。

比婆牛ブランド共創プロジェクトは、比婆牛の魅力を生かした加工商品の開発を目的とした取り組みで、同プロジェクトに参加した飲食店や料理人が、比婆牛のさまざまな部位を使用したアイデア料理を開発しました。

採択者発表会では、広島県農林水産局農林水産ブランド戦略担当の池田志伸部長から水橋シェフに記念パネルが授与されました。

水橋シェフは「このような賞を獲得することができて嬉しい。お土産品として、手軽に比婆牛を味わってほしい」と笑顔で話しました。



▲池田部長（左）とグランプリを獲得した水橋シェフ



▲比婆牛たっぷりビーフカレー



▲比婆牛たっぷりビーフシチュー

## 芸能祭は大盛況！

くちわ文化祭「芸能祭」・11/24

No.7

口和自治振興センターで、地域の伝統と文化を守り続けることを目的とするくちわ文化祭「芸能祭」が開催されました。

今回で第46回を数える「芸能祭」には、地元の芸能サークル13団体が出演し、ギター弾き語り、大正琴、フラメンコ、フラダンス、コーラス、和太鼓、日本舞踊、ピアノ演奏、バンド演奏、神楽など、多岐にわたるパフォーマンスが披露されました。また、最後に行われた神楽演者による「餅まき」は大いに盛り上がり、会場いっぱい笑顔があふれました。

パフォーマンスを見た来場者は「今回は、初参加の人や若者の参加が増えた団体もあり、各団体の新しいエネルギーを感じる場面が多くあった」と話しました。



▲フラダンスの演舞

## 女性活躍社会の実現を目指す

ヒューマンフェスティバル 2024・12/1

No.6

里山総領体育館で、ヒューマンフェスティバル2024が開催され、多くの来場がありました。

これは、人権や地域のことを考える機会となることを目的に、12月10日の世界人権デーおよび12月4日からの人権週間に合わせて毎年開催されているイベントです。

当日は、総領小児童の太鼓の演奏、総領中学生による地域研究発表があり、続いて三次市立八次小の伊藤綾香先生による「女性が活躍する社会～地域活動を通じて～」と題した講演が行われました。

伊藤先生は「女性活躍社会実現のためには、自分が積極的に関わることが大切」と話し、来場者も熱心に聞き入っていました。



▲総領小児童による太鼓の演奏

## 庄原で海の生き物発見！

化石発掘体験講座・11/9

No.3

比和自然科学博物館主催で化石発掘体験講座が開催され、市内外から45人が参加しました。

参加者は、午前中に市内の発掘現場でハンマーやタガネを使い、1,600万年前から1,500万年前の地層“備北層群”の岩石から化石を発掘しました。午後からは比和自然科学博物館に移動し、化石に付いた余分な岩石などを丁寧に落とす仕上げを行いました。

今回は、サメの歯、ホタテ、ツノガイ、ウニ、植物など、多くの種類の化石が発掘され、講師も驚くと共に、化石発見の度に参加者から歓声が上がりました。

参加した小学生は、「サメの歯がたくさん発掘されて、びっくりした。発掘された化石から、大昔の庄原は海だったことがよく分かった」と話しました。



▲化石の発掘を行う参加者

## 心もおなかも満たされる

ヒバゴン食堂×西城中学校・11/30

No.2

西城自治振興センターで庄原市社会福祉協議会西城地域センターが主催する地域食堂「ヒバゴン食堂」が開催されました。

この取り組みは、子どもの食育や高齢者の孤食防止につながることを目的に令和5年8月から開催されています。7回目の開催となる今回は、西城中3年生がメニューを考案し、学校菜園で収穫した野菜や授業で仕込んだ手作りみそ、地元農家の育てた米や野菜、果物を使用しました。

当日は、西城中学校の生徒も手伝いに駆け付け、生徒の作った手作り看板やのぼり旗、顔はめパネルが来場者を迎えました。食事をした来場者は「おいしくて楽しい時間を過ごせた」と話しました。



▲来場者に接客を行う生徒たち

母子保健事業

●保健医療課母子保健係 ☎0824-73-1214

事業名	とき	ところ	持ってくるもの	備考
母子健康手帳交付	2月3日(月)・2月10日(月) 9時～17時	保健医療課母子保健係	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 出産予定日と受診した病院名が分かるもの</li> <li>■ 本人確認書類(運転免許証など)</li> </ul>	事前予約が必要
	2月8日(土)10時～12時	庄原ひだまり広場(こども未来広場内)		事前予約が必要(先着2組)
	1月27日(月)・2月17日(月) 9時～12時	東城支所		事前予約が必要
育児相談	2月4日(火)10時～12時	庄原ひだまり広場(こども未来広場内)	母子健康手帳	事前予約が必要。支所での相談を希望する場合はお問い合わせください。

子育て世代包括支援センター事業

●子育て世代包括支援センター ☎0824-73-1214

事業名	とき	ところ	内容	備考
ほのぼの子育て講座	1月30日(木) 10時～12時	庄原ひだまり広場(こども未来広場内)	「悩めるママの栄養講座～赤ちゃんの成長に合わせた離乳・卒乳・卒ミルク～」	1月28日(火)17時までに事前申し込みが必要。

**相 談**

相続・遺言に関する相談会

広島司法書士会は、相続・遺言に関する、多様な悩みを抱えた人の相談に無料で応じる相談会を実施します。

**とき**  
2月2日(日) 10時～16時

**【電話相談】**  
☎082・511・7196

**【面談相談】**  
ところ  
広島司法書士会総合相談センター(広島市中区)

**面談予約**  
☎082・221・5345

**問い合わせ**  
広島司法書士会  
☎082・221・5345

**催 し**

庄原市の地域医療を考える会 市民公開講座

中山間地域の医療機関で、現在どのような治療が受けられるか、今回は糖尿病について分かりやすく解説します。

**とき**  
2月15日(土) 14時から

**ところ**  
庄原市民会館大ホール

**募 集**

県営住宅入居者

市内の県営住宅のうち、新たに空室が生じた住宅の入居者を募集します。

**受付期間**  
1月30日(木)～2月3日(月)

※最終日消印有効

※土・日曜日は受付していません。

**受付時間** 8時30分～17時

申し込み・問い合わせ  
広島県ビルメンテナンス協同組合 県営住宅管理グループ  
☎0824・62・6575

**講 座 名**

この地域ですくと暮らしたい④ ～地域で受けられる医療2025～

**講 演**  
「適正な食事と運動で健康やかな人生を」糖尿病とサルコペニア、骨粗鬆症について

**講 師**  
庄原赤十字病院 糖尿病内科 米田 真康 医師

**問い合わせ**  
保健医療課医療予防係  
☎0824・73・1155  
庄原赤十字病院経営企画課  
☎0824・72・3111

**広告** 「この社会あなたの税がいきっている」

インターネットで申告・納税できる **利用推進運動中**

**e-Tax** (国税電子申告・納税システム) <http://www.e-tax.nta.go.jp>

公益社団法人 **庄原法人会**

めざましよき経営者による、正しい納税で企業の繁栄と社会への貢献

〒727-0011 広島県庄原市東本町1-2-22 (庄原商工会議所会館内)  
TEL 0824-72-1889 (FAX兼用)  
Mail sh-hojin@siren.ocn.ne.jp

**市税・保険料の納期限のお知らせ**

■市県民税(普徴) 4期  
■国民健康保険税(普徴) 7期  
■介護保険料(普徴) 8期  
■後期高齢者医療保険料(普徴) 7期

**納期限 1月31日(金)**

「口座振替」にしている人は、納期限の前日までに残高確認をお願いします。

収納課収納係 ☎0824-73-1511

あなたの相談をお受けします

悩みごと、心配ごと、困りごとなど、お気軽にご相談を

各種相談	とき	ところ	備考	問い合わせ
人権相談	庄原 2月4日(火)・18日(火) 13時30分～15時30分	庄原市ふれあいセンター	人権擁護委員	広島法務局三次支局 ☎0824-62-5070
	西城 2月13日(木)13時30分～15時30分	西城自治振興センター		
	東城 2月6日(木)13時30分～15時30分	東城ふれあいセンター		
	高野 2月18日(火)13時～15時	高野支所		
	比和 2月4日(火)13時30分～15時30分	比和自治振興センター		
	総領 2月12日(水)9時～11時	総領保健福祉センター		
行政相談	庄原 2月20日(木)13時～15時	庄原市ふれあいセンター	行政相談委員	市民生活課市民生活係 ☎0824-73-1154 西城支所市民生活係 ☎0824-82-2124 口和支所市民生活係 ☎0824-87-2112 高野支所市民生活係 ☎0824-86-2115 比和支所市民生活係 ☎0824-85-3001 総領支所市民生活係 ☎0824-88-3063
	西城 2月20日(木)13時30分～15時30分	西城自治振興センター		
	口和 1月24日(金)9時30分～11時30分	口和保健福祉センター		
	高野 2月18日(火)13時～15時	高野支所		
	比和 2月4日(火)13時30分～15時30分	比和自治振興センター		
	総領 2月12日(水)9時～11時	総領保健福祉センター		
法律相談	西城 1月31日(金)13時～16時	西城自治振興センター	広島弁護士会による無料相談。要予約。	広島弁護士会 ☎0120-969-214
	口和 2月14日(金)13時～16時	口和保健福祉センター		
生活安全相談	毎週月～金(祝日・年末年始除く) 9時～12時、13時～16時	市民生活課市民生活係	生活安全相談員	市民生活課市民生活係 ☎0824-73-1244 東城支所市民生活係 ☎08477-2-5121
		東城支所市民生活係		
消費生活相談	毎週月～金(祝日・年末年始除く) 9時～12時、13時～16時	市民生活課市民生活係内 庄原市消費生活センター	消費生活相談員	庄原市消費生活センター ☎0824-73-1228 市民生活課市民生活係 ☎0824-73-1154
家庭児童相談	毎週月～金(祝日・年末年始除く) 9時～16時	児童福祉課あんしん支援係	家庭児童相談員	家庭児童相談専用 ☎0824-73-1243
妊娠・出産子育ての相談	毎週月～金(祝日・年末年始除く) 8時30分～17時15分	子育て世代包括支援センター ほのぼのネット(市役所本庁舎2階)	助産師・保健師 保育士・社会福祉士	子育て世代包括支援センター ☎0824-73-1214
認知症カフェ	庄原 「これから」 2月11日(火)13時～15時	庄原ショッピングセンタージョイフル2階	相談・情報交換 参加費なし	高齢者福祉課 地域包括支援センター係 ☎0824-73-1165
	西城 「コスモスカフェ」 2月6日(木)13時30分～15時	西城保健福祉センター(しあわせ館)		西城支所保健福祉係 ☎0824-82-2202
	東城 「おれんじカフェ・ええ塩梅」 1月28日(火)13時30分～14時30分	東城支所	相談・情報交換 参加費100円	東城支所保健福祉係 ☎08477-2-5131
	比和 「あしたのカフェ」 2月18日(火)13時30分～15時	比和温泉施設あけぼの荘		比和支所市民生活係 ☎0824-85-3001
障害者相談員定期相談会	庄原 2月17日(月)13時30分～15時30分	庄原市ふれあいセンター	知的障害者相談員	社会福祉課障害者福祉係 ☎0824-73-1210
	口和 2月4日(火)9時30分～11時30分	口和自治振興センター	身体・知的障害者 相談員	
	口和 2月5日(水)9時30分～11時30分	口和保健福祉センター		
比和 2月4日(火)9時30分～12時	比和ふれあいセンター			
身体障害者補装具判定会	聴覚 2月18日(火)13時～13時45分	広島県三次庁舎第3庁舎2階 三次市十日市東4-6-1	1週間前までに要予約	社会福祉課障害者福祉係 ☎0824-73-1210
心の健康相談	2月18日(火)13時～14時30分	広島県北部保健所 三次市十日市東4-6-1	精神科医師による無料相談。事前予約が必要。	広島県北部保健所保健課 ☎0824-63-5185

※掲載の内容は、天候などの影響により中止・延期・変更となる場合があります。詳しくはお問い合わせください。

放送大学4月生

放送大学は、令和7年度4月入学の学生を募集します。10代から90代までの幅広い世代、約8万5千人の学生が、大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、さまざまな目的で学んでいます。

授業にはBS放送視聴、インターネット視聴、講師からの直接授業の3つのスタイルがあります。心理学・福祉・経済・歴史・文学・情報・自然科学など、300以上の幅広い授業科目があり、1科目から学ぶことができます。また、卒業すれば学士の学位を取得できます。

1単位の授業料は6千円(入学金は別)。半学期ごとに学ぶだけの授業料を支払うシステムです。

全国に学習センターやサテライトスペースがあり、面接授業の開講やサークル活動などの学生交流も行われています。

資料を無料で提供しています。お気軽にご連絡ください。

出願期間 3月11日(火)まで

問い合わせ 放送大学広島学習センター 082・247・4030

その他

家畜を所有する人へ

家畜伝染病予防法では、畜産業に限らず、家畜を所有している人は、毎年2月1日時点で飼育している家畜の頭羽数、飼育している衛生管理状況について、県へ報告する義務があります。

報告期限

- 4月15日(火) 牛、水牛、鹿、馬、羊、山羊、豚、イノシシ
- 6月13日(金) 鶏、その他家きん(アヒル、ウズラ、キジ、ダチョウ、ホロホロチョウ、七面鳥)

報告先・問い合わせ

広島県北部畜産事務所 0824・72・2015 ホームページ https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/85/kachiku-teikihoukokuhmnl

確定申告で税務署への来場を考えている人へ

e-Taxをご利用ください。確定申告会場(税務署)では、自分のスマートフォンを利用した、e-Taxでの申告

令和7年度広告主を募集します

Table with 5 columns: 名称, 枠数, 規格, 広告料, 配布数量など, 備考. Rows include 広報紙, ホームページバナー, 共通封筒, 納税通知用封筒, 母子手帳.

令和7年度募集期間: 2月3日(月)~17日(月) <広報紙・ホームページバナーは随時募集しています> ※市税を滞納している人の広告は掲載できません。 ※その他、市営バスや公用車など随時広告を募集しています。詳細は市ホームページをご覧ください。

告方法について説明しています。

e-Taxでの申告は、自宅からでも可能です。スマートフォンでカメラで源泉徴収票を撮影すれば、金額や支払情報などが自動で入力されます。ぜひご利用ください。

入場整理券を配付します

確定申告会場へ来場する場合、「入場整理券」が必要です。入場整理券は、次の2つの方法で配付します。

①オンラインで事前発行

国税庁公式LINEアカウントから、入場整理券を事前発行できます。国税庁公式アカウントの友だち登録はこちらからお申し込みします。

②庄原税務署で当日配付

庄原税務署で、当日8時30分から入場整理券を配付します。

ただし、配付状況に応じて、後日の来場をお願いする場合があります。

その他

不動産の売却や贈与税の申告相談は、3月3日(月)~17

日(月)です。(土・日曜日除く)

マイナンバーカードを持っている人は、利用者証明書用電子証明書(数字4桁)と署名用電子証明書(英数字6文字以上16文字以下)のパスワードも併せて持参してください。

高齢者の在宅介護を支援します

重度の介護が必要な高齢者を在宅で介護している人に、慰労金を支給します。

①介護慰労金支給事業

市内に住所があり、次の要件全てに該当する高齢者と同居し、在宅で介護している人

【高齢者の要件】

- 市内に住所があり、在宅で生活している
- 要介護4または5の認定を受けている

支給額

高齢者1人につき月額5千円 ※1カ月のうち、入院・入所などの期間を除いた在宅日数が20日以上るとき、1カ月として算定します。

※支給は基準日前6カ月を基礎とします。

基準日 2月1日 (8月1日から1月31日) 8月1日 (2月1日から7月31日) 申請の時期 各基準日の20日後まで

②特別介護慰労金支給事業

市内に住所があり、申請書の提出年度の市民税が非課税の世帯で、次の要件全てに該当する高齢者と同居し、在宅で介護している人

【高齢者の要件】

- ①介護慰労金支給事業の要件に該当している
- 原則1年間、介護保険サービスを利用していない

支給額

在宅高齢者1人につき、年額10万円

申請の時期

介護サービスを利用しなかった期間が1年間に達した日から起算して1年以内に申請

申請に必要なもの ①②とも、申請書に介護支援専門員の証明が必要です。 問い合わせ 高齢者福祉課介護保険係 0824・73・1167

賃貸アパート/売買戸建て/土地 庄原市のアパート探し、庄原市・三次市の戸建て・土地のことならお任せください。また不動産の売却相談・買取も承っておりますので、お気軽にお問い合わせください。 カントリーランド 727-0012 広島県庄原市中本町1-4-9 庄原市役所前 TEL:0824-72-1497 FAX:0824-72-1435

受け継ぐ技術と伝統そして未来への挑戦 U・Iターン大歓迎 未経験OK 土日祝休み 年間休日125日 勝光山鉱業所 庄原市東本町三丁目13番10号 https://shokozan.jp/ TEL:0824-72-2111 社員募集中 お気軽にお問い合わせください

保育士(中途/新卒)募集中 当社は庄原市100%出資の会社です。あなたの「ちから」が庄原市には必要です。詳しい求人内容は当社webサイトからご覧いただけます。 → お問い合わせ先 まごころと信頼の提供 庄原市総合サービス株式会社 〒727-0012 庄原市中本町二丁目13-24 Tel(0824)75-0600 http://shobara.co.jp

国営備北丘陵公園だより

# 冬咲きぼたん展

1月25日(土)～2月16日(日)

※休園日：1月27日(月)  
2月3日(月)・12日(水)  
【開園時間】9時30分～16時30分  
(入園は15時30分まで)

備北公園管理センター ☎0824-72-7000  
(<https://www.bihokupark.jp/>)



## 冬咲きぼたん展

冬に咲くように開花時期を調整した色鮮やかな大輪のポタンを、ひばの里さとやま屋敷で展示します。藁帽子(藁のこも)をかぶり、寒さに耐え、凛と佇む「冬咲きぼたん」が冬の景色を彩ります。雪がしんと積もるなかで咲き誇る姿は、まさに冬の風物詩と言えます。

## ひばの里年中行事「節分」

### 【節分料理のおもてなし】

節分にちなんだ、「煎り大豆」「いわし料理」「こんにやく料理」を食べることが出来ます。  
※「いわし料理」「こんにやく料理」は土・日曜日のみ  
1月25日(土)～2月2日(日)  
開園時毎日  
9時30分から  
※無くなり次第終了  
さとやま屋敷



## 【豆餅つき】

煎った黒豆と、ひばの里で収穫したもち米で餅つきを行い、つきたてのお餅を先着100人へ振る舞います。  
とき 1月26日(日) 13時から  
※無くなり次第終了  
ところ さとやま屋敷

## 水鳥観察会

水鳥に詳しい公園ボランティアガイドの皆さんと一緒に、国兼池に集まる水鳥や野鳥の観察ができます。  
とき 1月26日(日)、2月9日(日)  
■受付 9時30分～10時  
■観察 10時～12時  
ところ 里山の駅庄原ふらり  
※観察会は無料ですが、観察を園内で行うため、別途入園料と駐車料が必要です。  
定員 30組/日



※記載されている情報は12月現在のものです。記載内容が変更または中止となる場合がありますので、お出掛けの際には事前にホームページでご確認ください。

## 2月7日は北方領土の日

政府は、毎年2月7日を「北方領土の日」と定め、国を挙げて北方領土返還要求運動を進めています。

北方領土問題とは、第二次世界大戦終戦時にソ連軍が北方四島(歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島)に侵攻し、現在に至るまでロシアが法的根拠なく占拠し続けていることです。

北方四島は、1855年2月7日に調印された日魯通好条約により、日本の領土として国際的に明確にされています。私たち一人一人の声を結集し、みんなで協力し合って、北方領土の早期返還を実現させましょう。

令和6年度北方領土に関する標語・キャッチコピー  
最優秀賞  
「今も昔もこれからも北方領土は日本の領土」

問い合わせ  
北方領土返還要求運動広島県民会議(広島県環境県民局県民活動課内)  
☎082・513・2723

## あつぱれ庄原

全国レベルの大会出場者・全国・県レベルの大会、市が共催する各種大会などの上位入賞者を掲載します。(敬称略)

## その他

※学年は大会開催時で紹介

## 人権の花「国画コンクール」

### 優秀賞

- 沖村 葉月 (東小1年)
  - 田原 紗菜 (東小1年)
  - 安藤 咲翔 (東小1年)
  - 細井 晴日 (東小1年)
  - 牧原 朱里 (東小1年)
  - 佐藤 結羽 (東小1年)
  - 國重 千紗 (東小2年)
  - 中迫 沙 (東小2年)
  - 栗原 那奈 (東小2年)
  - 為藤 百 (東小2年)
  - 今岡 美空 (栗田小2年)
  - 今岡 心結 (東城小2年)
  - 陰地 梨希 (総領小2年)
  - 永迫 結 (庄原小3年)
  - 吉田 希生 (庄原小3年)
  - 河口 風花 (庄原小3年)
  - 上林 瑠莉 (高小3年)
  - 二上 陽太 (高小3年)
  - 栗田 勇駆 (高小3年)
- (特別支援学校3年)  
(特別支援学校5年)  
山崎 はな

## 広島県特定(産業別)最低賃金が改定されました

今回改定されたのは4業種の特定(産業別)最低賃金で、令和6年12月31日から発効しました。

業種	時間額	発効日
製鉄業、鋼材、鋳鉄鋳物、可鍛鋳鉄製造業、その他の鉄鋼業	1,114円	令和6年12月31日
建設用・建築用金属製品、その他の金属製品製造業	1,020円	令和6年10月1日
はん用機械器具、生産用機械器具、業務用機械器具製造業	1,070円	令和6年12月31日
電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業	1,045円	令和6年12月31日
自動車・同附属品製造業	1,048円	令和6年12月31日
船舶製造・修理業、船用機関製造業	1,030円	令和5年12月31日
各種商品小売業	1,020円	令和6年10月1日
自動車小売業	1,020円	令和6年10月1日
広島県最低賃金	1,020円	令和6年10月1日

問い合わせ 広島労働局賃金室 ☎082-221-9244 三次労働基準監督署 ☎0824-62-2104

**広告** 相續空き家問題成年後見等でお困りの方、あなたの世代で解決しませんか?

業務のご案内

- 不動産の名義変更
- 成年後見
- 相続登記・遺言
- 会社の登記
- 借金の整理
- 簡易裁判所訴訟代理等

●詳しくはホームページに記載しています。  
庄原 司法書士 検索

司法書士法人 広島北部司法事務所  
(簡易裁判所訴訟代理認定番号524014号)(司法書士登録番号828号)  
平成29年4月1日より庄原市役所前に事務所移転しました。  
住所 〒727-0012 広島県庄原市中本町一丁目8番16号 TEL0824-72-2315(要予約)

**広告** 住まいの事なら何でもご相談下さい。

**ながたか 長岡商事株式会社**

災害時に一番早く復旧するプロバングス。  
『安心と笑顔が増えるお手伝いをする。』  
ガス供給と共に、より良い生活環境の場をご提案致します。

☎0120-184-268  
広島県庄原市是松町 5020 番地 40 TEL0824-72-0561

**広告** 家の整理ができてない... その面倒・不用品 出張買取ですべて解決しませんか?

スエムグループ創業62周年の安心と信頼

高額買取・何でも不用品回収 美幸-ピコウ  
広島県三次市堀町2123-5  
広報誌見ました!とお気軽にお問い合わせください!

おもちゃでも買取ります! 買取例 15,000円  
切手(シート・バラ) 額面の60%で買取ります! 買取例 10,000円

0120-66-1035

**出張買取**

**人の動き（庄原市の人口）**  
令和6年11月末現在

**【住民基本台帳登録人口】**  
人口 31,250人（前年比-836人）  
男 14,976人（前年比-372人）  
女 16,274人（前年比-464人）  
世帯数 14,828世帯（前年比-189世帯）  
**【うち外国人】**人口 570人（前年比40人）  
**【各地域の内訳】**  
○庄原地域 16,535人（7,832世帯）  
○西城地域 2,866人（1,308世帯）  
○東城地域 6,523人（3,247世帯）  
○口和地域 1,693人（742世帯）  
○高野地域 1,446人（626世帯）  
○比和地域 1,098人（525世帯）  
○総領地域 1,089人（548世帯）

**休日診療のご案内**

1月・2月の休日診療については、次のとおりです。  
●庄原市休日診療センター  
診療日：日曜・祝日・年末年始（12/30～1/3）  
問診診療日 ☎0824-72-9900  
診療日以外 ☎0824-73-1155（保健医療課）  
●東城地域

1月26日(日)	庄原市休日診療センター	☎0824-72-9900
2月2日(日)	瀬尾医院	☎08477-2-0023
9日(日)	庄原市休日診療センター	☎0824-72-9900
11日(火)	庄原市休日診療センター	☎0824-72-9900
16日(日)	東城病院	☎08477-2-2150

**献血のご案内**  
問保健医療課 ☎0824-73-1155

献血を次のとおり実施します。  
400ml 献血限定ですので、皆様のご協力をお願いします。

実施日	会場	受付時間
2月6日(木)	庄原赤十字病院	11時30分～15時30分

**しょうばら九日市**

**毎月9日は、しょうばら九日市**  
★出店者募集中！あなたのお店を開こう。  
★毎月20日が出店申込締め切りです。  
★申し込みは楽笑座内九日市事務局  
☎0824-72-8285 まで  
と き 2月9日(日) 9時～13時  
と ころ 中本町・まちなか広場周辺(のほりが目印)  
詳しくはHPで <http://kunchi-ichi.jp/information.html>

**広報日記**  
▶新年明けましておめでとうございます。「広報しょうばら」をよろしくお祈りします。本年も各地域のイベントや行事に積極的に取材に行き、皆さんに最新の情報を届けられるよう頑張っていきます。☎☎

**食育コーナー**  
問保健医療課 ☎0824-73-1255

**庄原市食育ポスターコンクールを開催しました**

市は毎年、市内の小学生を対象に食育ポスターコンクールを開催しています。本年も「野菜を食べよう」「バランスよく食べよう」「感謝して食べよう」など、食に対する思いを込めた多くのポスターの応募がありました。  
ポスターを描くことで家庭・地域・学校で食を身近に感じ、自分の身の回りの「食」について考えるきっかけになればと思います。  
今回は食育ポスターコンクールで受賞した作品を紹介します。

**受賞作品(敬称略)**

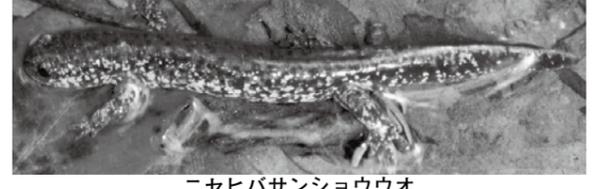
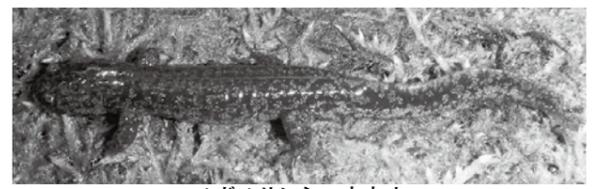


**比和自然科学博物館** ☎0824-85-3005  
開館：9時～17時（年末年始休館）

**小型サンショウウオの新種をスポット展示**

本市の大きな河川には、国の天然記念物「オオサンショウウオ」が、源流付近の小川や池、沼のような緩やかな水場には「小型サンショウウオ」が生息しています。  
小型サンショウウオは、日本全国で51種類が確認されていましたが、2023年に中国山地に生息するものから4種類が新種記載され、55種類となりました。これに伴い、広島県内では10種類から12種類に変更となっています。  
各調査地点の「ヒバサンショウウオ」(2019年に再分類)の尾から採取された遺伝子データを基に、個体どうしの大きさや模様の違いを検証した上で、「ヒバサンショウウオ」とは別に、広島県においては三次市作木町と島根県飯南町との境にある女亀山付近に生息する「メガメサンショウウオ」、北広島町などに生息する「ニセヒバサンショウウオ」に細かく再分類されました。  
比和自然科学博物館では、今回の研究成果と共に新種記載された2種を含めた12種の標本を、新種論文を発表された内藤順一さん(当館の客員研究員、両生類や魚類、淡水貝の研究者)により、スポット展示にて紹介しています。ぜひ当館へお越しいただき、新種のサンショウウオをご覧ください。

**【展示名】** 第8回市民研究者チャレンジ企画展示  
「小型サンショウウオ 種の多様性～小型サンショウウオの新種研究報告 part 2～」  
**【展示期間】** 3月28日(金)まで



**市民ギャラリー「アート多愛夢」**  
情報BOX (西本町二丁目1番21号)

市街地の空き店舗を活用した、各種展示ができる市民ギャラリーです。  
▶中川智晶 帝釈ステンドグラス教室作品展  
と き 2月8日(土)～10日(月) 10時～15時  
問アート多愛夢事務局 ☎0824-72-6405 (友永)  
※展示を希望する団体(または個人)はお申し込みください。使用料は要りません。

**食彩館しょうばら**  
ゆめさくら ☎0824-75-4411

**1・2月のイベント情報**  
▶ゆめさくら講座  
○草木染め教室  
と き 1月27日(月) ①9時～12時 ②13時～16時  
▶イベント・展示・販売  
○敷信自治振興区活動報告展  
と き 1月10日(金)～2月10日(月)  
○牛乳ポスター入選作品展  
と き 2月12日(水)～24日(月)

**市税・水道料金・下水道使用料**  
納付は口座振替が便利です

手続きは各金融機関の窓口でお願いします。残高確認も忘れないでください。  
●収納課 ☎0824-73-1511  
●下水道課管理係 ☎0824-73-1175  
●広島県水道広域連合企業団庄原事務所業務係 ☎0824-73-1197

**ロビーコンサート**  
問生涯学習課 ☎0824-73-1189

と き 1月27日(月) 12時15分～12時55分  
と ころ 市役所本庁舎 1階市民ホール  
出演者 山崎 賀子・・・箏  
シランクルズ・ランパル・・・フルート  
**演奏曲目**  
春の海、舌越、春よ来い ほか  
▶山崎 賀子  
エリザベト音楽大学大学院音楽研究科修士課程修了。箏の古曲、宮城曲、沢井曲、現代曲などを、幅広く研究。クラシックギターやフルートなどの洋楽器とのアンサンブルや教育現場での公演も積極的に行っている。広島市にて箏・三絃教室を持つ傍ら、学校や文化センターなどでの講師も務めている。  
▶シランクルズ・ランパル  
フィリピンのサント・トマス音楽大学フルート専攻音楽学士課程修了。NAMCYA(若い芸術家のための全国音楽コンクール)やメディチ国際音楽コンクールなど様々な大会に参加し、入選を果たした。  
UST シンフォニー・オーケストラの元メンバーであり、数々のイベントに出演。現在は、エリザベト音楽大学大学院修士課程在学中。

※掲載の内容は、天候などの影響により中止・延期・変更となる場合があります。詳しくはお問い合わせください。



## 第100回の節目を記念して

第100回広島県畜産共進会記念フォーラム・11/27

広島県畜産共進会の第100回目を記念して、庄原市民会館で「第100回広島県畜産共進会記念フォーラム」が開催されました。

広島県畜産共進会は明治42年から始まり、牛の肉質を評価する「枝肉の部」と、牛の体形・見た目を評価する「種畜の部」の2つの部からなる伝統的な大会です。

今回のフォーラムでは、島根大学法文学部社会文化学科の板垣貴志さんによる「和牛の歴史-日本史に刻まれた蹄の跡-」について、広島県立総合技術研究所畜産技術センターの河野幸雄さんによる「七塚原120年のあゆみ」の講演が行われました。また、パネルディスカッションでは、パネラーの皆さんが「広島の牛の『食の切り口』からの価値」について、たくさんの意見交換を行いました。

最後には試食会も行われ、総領町にある飲食店のシェフである水橋聡さんが、比婆牛の創作料理を参加者全員に振る舞い、皆さん比婆牛の味を堪能していました。



▲意見を交わすパネリストの皆さん

裏表紙に出張!  
市政トピックス

## SHISEI Topics

農業  
振興課

## 肉質の良さを証明

第100回広島県畜産共進会「冬季枝肉の部」で、本市の牛が最優秀賞を獲得



最優秀賞を獲得した田中牧場の田中高志さん（中央）

12月3日、広島市中央御売市場の食肉市場で、第100回広島県畜産共進会「冬季枝肉の部」が開催され、31頭（去勢18頭、雌13頭）が出品されました。市内からは2頭が出品され、(株)ひば高原田中牧場が最優秀賞、ひろしま農業協同組合 西城肥育センターが優秀賞4席を獲得しました。

審査講評では、肉質が良質なものが揃い、レベルの高い節目となる共進会で、最優秀賞に選ばれた枝肉は、「肉量があり、脂肪の質も非常に良好でかなり優れている」と評価されました。

市内から出品された枝肉が、上位入選したことで改めて肥育技術の高さと日々の飼養管理および先人からの和牛改良の努力の積み重ねに敬意を示す結果となりました。

いちばんづくり課

## 東城の歴史的建造物を学び、「食」を楽しむ

庄原ファンクラブ会員交流イベント開催

11月24日、「秋の東城まち歩き建物見学&つまみ食いツアー」を開催しました。午前中は、東城路まちなみ協議会のガイドで東城の銘菓や名酒のお店に立ち寄りながら、「三楽荘」などの見学や、普段は通らないような路地に入るなど、まちなみ散策を満喫しました。

昼食は、庄原ファンクラブ会員でもある本市出身の書道家、坂口赤道さんのお手製ラーメンを「まち宿有栖」で食べ、その後、坂口さんの書道パフォーマンスを楽しみました。

坂口さんに好きな文字を即興で書いてもらった色紙を、参加者はとても嬉しそうに受け取っていました。

庄原ファンクラブ情報はインスタグラムにも掲載していますので、詳しくはこちらをご覧ください。



ガイドの説明を聞く参加者



壁画アートを体験